

平成30年度 竹田教育事務所 重点方針

1 学校マネジメントの深化

□大分県版「チーム学校」実現プランの理解促進

□「学校マネジメント4つの観点」に基づく指導・支援

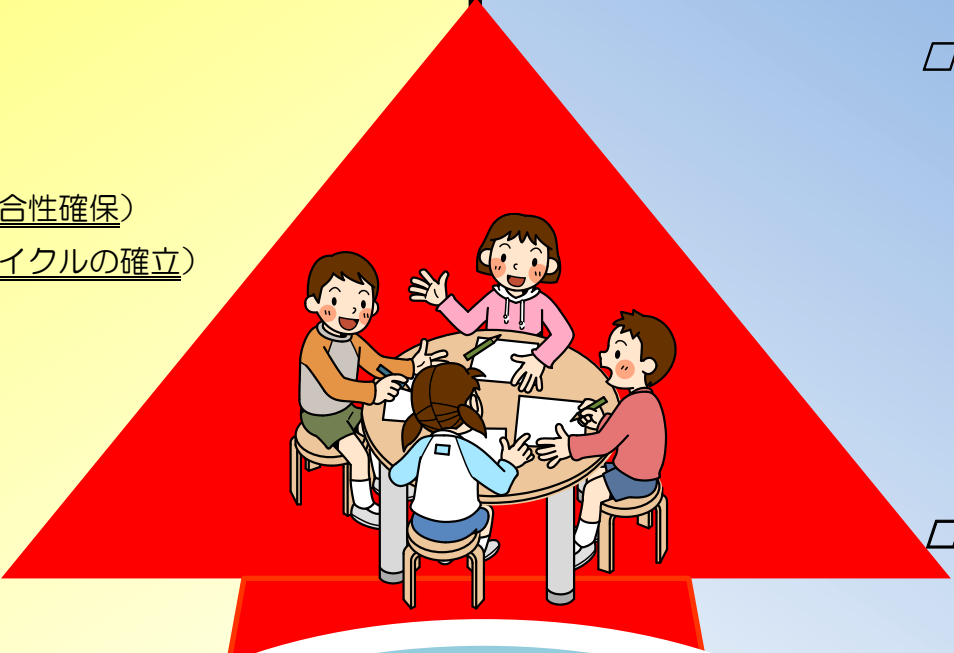
- 観点Ⅰ：妥当な取組指標の設定（学校の教育目標見直しとの整合性確保）
- 観点Ⅱ：検証・改善サイクルの確立（年度を跨ぐ検証・改善サイクルの確立）
- 観点Ⅲ：目標の連動（主要主任による指導・助言）
- 観点Ⅳ：チーム学校

□「地域とともにある学校」への転換

- CSの普及・地域学校協働活動の推進

□マネジメントツールを活用した教育課程レベルでの校種間連携の推進

- 「学校評価の4点セット」による校種間連携の推進
- 小学校におけるスタートカリキュラムの作成



子どもの力と意欲の向上

2 授業改善の徹底

□「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現（ALの視点）

- ① 1時間完結型（めあて・課題・まとめ・振り返り）の適切な設定
 - ② 板書の構造化
 - ③ 習熟の程度に応じた指導
 - ・「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り
 - ・「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫
 - ④ 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開
- ◆ 「中学校学力向上対策3つの提言」の着実な推進

□特別支援教育の視点からの授業改善

- 通常学級に在籍する教育的支援を必要とする児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成・活用

□授業改善の取組を活かしたカリキュラム・マネジメントの推進

- 教科横断的な単元配列表等の作成

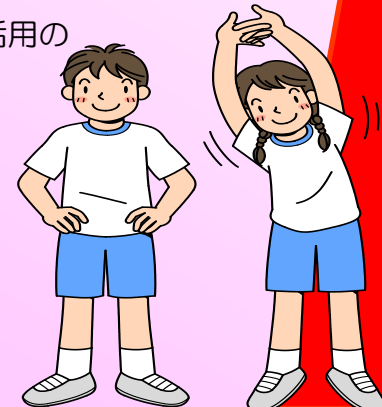
3 体力向上の推進と健康課題への対応

□運動の習慣化・日常化に向けた組織的取組の推進

- 「一校一実践」の改善
- 新体力テスト、DE層への支援
- 年間2回以上の体力運動能力調査実施

□生活習慣の改善とフッ化物洗口の取組拡充

- 食や睡眠などの生活習慣の改善
- 歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物の活用の3本柱で進めるむし歯予防対策



「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上

4 いじめ・不登校対策等の推進

□いじめ・不登校に係る校内対策委員会等の定期的開催の徹底

□SC・SSW等の専門スタッフ等を効果的に活用する体制整備

□教育支援センター等との連携促進

□地域児童生徒支援コーディネーターの活用推進

＜教育相談コーディネーターと連携＞

- 生徒指導の3機能を意識した教育活動の展開
- 校区内小学校との小・中学校の接続推進
- 連続3日以上の子どもの把握体制確立
- 「児童生徒支援シート」の作成

□子どもの貧困対策に係る体制整備

- SCやSSW、福祉等関係機関との連携強化
- 子ども食堂への支援